

総合医療薬学演習

Interdisciplinary Course of Pharmaceutical Health Care and Sciences

薬 : L1-28623MY

総合科目 6年／後期 1.5単位 必修科目

科目責任者 教務委員長

■ 教育目的

薬学科教育課程の締めくくりとして、これまでに学んできた薬学の学習内容を総括し、優れた薬剤師として社会に貢献できるようになるための知識・技能・態度を確認する。

【卒業認定・学位授与の方針 : YD-①、YD-②、YD-③、YD-④、YD-⑤】

■ 学習到達目標

薬学教育モデル・コアカリキュラムに記載された項目について、これまで学んだ講義・演習、実務実習等を総合的に復習し、内容を整理しながら理解を深める。(知識・技能・態度)

■ 準備学習（予習・復習）

予習：9分野について、これまで学んできた内容を整理し、確実に理解しておく。

復習：本演習内で実施する試験で間違えた内容は、直ちに復習し理解を深め、知識を確かなものとする。

■ 授業形態

課題解決型学習

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBO コード
1	物理化学	物質の物理的性質(物理平衡、物質の移動)、他	C1
2	分析化学	化学物質の分析(酸と塩基、クロマトグラフィー、電気泳動法、画像診断法)、核磁気共鳴スペクトル、質量分析法、他	C2
3	有機化学	化学物質の性質と反応(アルケン、芳香族化合物、官能基の酸性度・塩基性度、有機ハロゲン化物、アルコール、アルデヒド・ケトン・カルボン酸)、他	C3、C4
4	生薬	日本薬局方(通則、一般試験法、生薬総則)、他	C5
5	生物	器官の構造と機能、細胞を構成する分子、遺伝子、他	C6、C7、C8
6	公衆衛生	健康、疾病の予防、他	D1
7	食品衛生・環境衛生	栄養と健康、化学物質の生体への影響、生活環境と健康、他	D1、D2
8	薬理	自律神経系に作用する薬、消化器系に作用する薬、循環器系に作用する薬、感染症と薬、悪性腫瘍と薬、他	E1、E2
9	薬剤(動態)	薬物の体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)、薬物動態の解析、他	E4
10	薬剤(製剤)	製剤(各種製剤、添加剤、薬物送達システム)、日本薬局方(通則、一般試験法、製剤試験法)、他	E5
11	法規・倫理・制度	医薬品医療機器等法、薬剤師法、管理薬に関する規制、社会保障制度、他	A、B
12	病態・薬物治療	循環器疾患、腎臓・尿路の疾患、生殖器疾患、呼吸器・胸部の疾患、内分泌系疾患、代謝性疾患、悪性腫瘍、他	E2、E3
13-15	実務 1-3	処方箋に基づく調剤、薬物療法の実践、チーム医療への参画、地域の保健・医療・福祉への参画、他	F

■ 授業分担者

林 賢(No.1)、小笠原 裕樹(No.2)、齋藤 望(No.3)、馬場 正樹(No.4)、松本 靖彦(No.5)、酒井 良子(No.6)、大山 悅子(No.7)、野澤 玲子・小川 泰弘(No.8)、宮嶋 篤志(No.9)、下川 健一(No.10)、高橋 朋子(No.11)、鷹山 晓史(No.12)、安 武夫・杉 富行・鈴木 陽介(No.13-14)、大野 恵子(No.15)

■ 課題（レポート・試験等）のフィードバック及び成績評価方法

期末試験(総合医療薬学演習試験)の成績(100 %)によって評価する。

■ 教科書

薬学総合演習テキスト(京都廣川書店)